

令和5年(2023年)8月23日
午後2時00分～午後4時00分
於：小田原市役所3階
議会全員協議会室

令和5年度第1回小田原市生活交通ネットワーク協議会

次 第

1 議題

協議事項

- (1) 令和4年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告及び決算報告
- (2) 小田原市地域公共交通計画（素案）について
- (3) 移動支援の新たな取組（実証事業）について
- (4) 小田原駅バス停表示板の改修について

2 その他

資料

- ・出席者名簿
- ・座席表
- ・【資料 1-1】 令和4年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告
- ・【資料 1-2】 令和4年度小田原市生活交通ネットワーク協議会決算報告
- ・【資料 2-1】 小田原市地域公共交通計画（素案・参考資料）※非公開
- ・【資料 2-2】 地域公共交通計画策定に係る地域別説明会での市民意見について
- ・【資料 3】 移動支援の新たな取組（実証事業）について
- ・【資料 4】 小田原駅バス停表示板の改修について

令和5年度 第1回 小田原市生活交通ネットワーク協議会 出席者名簿

区 分		会 員		備 考
		職 名	氏 名	
バス事業者	箱根登山バス株式会社	運輸部 部長	松本 峰雄	代理出席 課長 佐野 剛
	伊豆箱根バス株式会社	小田原営業所長	渡邊 淳也	
	富士急湘南バス株式会社	取締役社長	内田 実	欠 席
	神奈川中央交通株式会社	運輸計画部 課長	橋山 英人	
タクシー事業者	神奈川県タクシー協会 小田原支部	監事	曾我 良成	
運転者が組織する団体	神奈川県交通運輸産業 労働組合協議会	幹事	橋川 直広	
利用者・ 市民代表等	小田原市自治会総連合	曾我地区自治会連合会長	新 鹿 勲	
	小田原市自治会総連合	橘北地区自治会連合会長	諏訪部 一美	
	小田原箱根商工会議所	経営支援部 経営三課 課長	内田 信也	監 事
学識経験者	福島大学	准教授	吉 田 樹	会 長
交通管理者	神奈川県小田原警察署	交通第一課長	大貫 良将	
道路管理者	国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所	交通対策課 課長	古川 伸一	
	神奈川県県西土木事務所 小田原土木センター	工務担当部長	坂口 勝利	
	小田原市	建設部長	杉山 忠嘉	
交通政策所管	国土交通省関東運輸局 神奈川運輸支局	首席運輸企画専門官	小川 ゆかり	
	神奈川県	県土整備局都市部 交通企画課 副課長	最上 祐紀	監事 代理出席 主事 中川 航
	小田原市	都市部長	佐藤 正和	副会長 代理出席 都市部副部長 秋澤 憲彦

区 分		職 名	氏 名	備 考
事務局	小田原市	副部長 (まちづくり交通課長事務取扱)	金子 明弘	事務局長
		まちづくり交通課副課長	木澤 克紀	
		まちづくり交通課主査	泉 遼 佑	
		まちづくり交通課主査	増田 祐士	
		まちづくり交通課主事	土谷 海斗	
		まちづくり交通課主事補	葛西 隼太郎	

※地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会

※任期：2年（令和5年(2023年)4月1日～令和7年(2025年)3月31日）

令和4年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告

年月日	内 容
令和4年4月15日	<p>令和4年度 第1回小田原市生活交通ネットワーク協議会（書面開催）</p> <p>協議事項</p> <p>（1）小田原市地域公共交通計画策定業務プロポーザル審査委員会の設置に係る事項について</p> <p>（2）小田原市生活交通ネットワーク協議会規約の変更について</p> <p>報告事項</p> <p>（1）地域公共交通調査事業の内示について</p>
令和4年5月～7月	<p>小田原市地域公共交通計画策定調査業務公募型プロポーザル審査委員会</p> <p>5月10日 小田原市地域公共交通計画策定調査業務委託に係る公募型プロポーザル実施要領について（書面協議）</p> <p>6月22日 企画提案書の提出企業の選定について（書面協議）</p> <p>7月26日 審査会（4社から企画提案説明を受け、優先交渉権者及び次点交渉権者を選定）</p>
令和4年8月16日	<p>小田原市地域公共交通計画策定調査業務委託契約締結</p>
令和4年8月24日	<p>令和4年度 第2回小田原市生活交通ネットワーク協議会</p> <p>協議事項</p> <p>（1）令和3年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告及び決算報告</p> <p>（2）令和4年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）及び予算（案）</p> <p>（3）小田原市地域公共交通総合連携計画の令和3年度事業実施状況の評価（案）</p> <p>（4）小田原市地域公共交通総合連携計画の計画期間の延長について</p> <p>（5）生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）</p> <p>報告事項</p> <p>（1）地域公共交通計画策定調査業務について</p> <p>（2）橘地域バス路線の再編について</p> <p>（3）片浦地域バス路線の再編について</p> <p>（4）配車システム「福祉Mover」を活用した取組について</p>
令和4年10月26日	<p>令和4年度 第1回小田原市生活交通ネットワーク協議会 作業部会</p> <p>1 議題</p> <p>（1）地域公共交通計画策定調査業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題図に基づく公共交通の現状 ・小田原市地域公共交通総合連携計画に位置づく施策の評価 <p>（2）片浦地域路線バスについて</p> <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Community Mobility 株式会社からの提案（mobi）について
令和4年11月22日	<p>令和4年度 第2回小田原市生活交通ネットワーク協議会 作業部会</p> <p>1 議題</p> <p>（1）地域公共交通計画策定調査業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題図に基づく公共交通の現状 ・小田原市地域公共交通総合連携計画に位置づく施策の評価 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田原機器の提案（小田原駅へのデジタルサイネージ設置について） ・マイナンバーカードを活用した路線バスの割引サービスについて

<p>令和4年12月20日</p>	<p>令和4年度 第3回小田原市生活交通ネットワーク協議会 協議事項 （1）小田原市地域公共交通総合連携計画に位置付けた事業の実施状況評価（案） 報告事項 （1）地域公共交通計画策定調査業務について （2）片浦地域における移動手段の確保について</p>
<p>令和5年1月6日</p>	<p>令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）に係る書面協議</p>
<p>令和5年2月2日</p>	<p>令和4年度 第3回小田原市生活交通ネットワーク協議会 作業部会 1 議題 （1）地域公共交通計画策定調査業務について ・主題図から読み取れる課題解決に向けた協議 ・連携計画に位置づく事業で、見直し予定の事業の実施に係る協議 ・計画策定に係るタクシー事業者の意見 ・目標値について （2）高齢者タクシーについて</p>
<p>令和5年3月30日</p>	<p>令和4年度 第4回小田原市生活交通ネットワーク協議会 協議事項 （1）令和5年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）及び予算（案） （2）地域公共交通計画策定調査業務 ・小田原市地域公共交通総合連携計画に位置付けた事業の評価（案） ・小田原市地域公共交通総合連携計画における目標の達成状況（案） ・小田原市地域公共交通計画策定に向けた調査結果とりまとめ（案） ・公共交通のネットワークについて（案） ・令和5年度地域公共交通計画 スケジュール予定（案）</p>
<p>令和4年10月～ 令和5年1月</p>	<p>「バスの乗り方教室」開催 ・曾我小学校（実施主体）富士急湘南バス株式会社（10月17日） ・下中小学校（実施主体）神奈川中央交通西株式会社（10月20日） ・久野小学校（実施主体）伊豆箱根バス株式会社（1月20日） ・早川小学校（実施主体）伊豆箱根バス株式会社（3月3日） ・山王小学校（実施主体）箱根登山バス株式会社 ※中止</p>
<p>令和4年11月1日～ 12月31日</p>	<p>・「第8回バス de おでかけプロジェクト」の実施 （実施主体）バス事業者：箱根登山バス株式会社、富士急湘南バス株式会社 商 業 者：ダイナシティ、イトーヨーカドー小田原店 行 政：小田原市 民 間：株式会社小田原機器 ※令和4年度は、株式会社小田原機器からの提案を受け、デジタルチケットを導入</p>
<p>令和4年4月1日～ 令和5年3月20日</p>	<p>県西部都市圏バスマップ製作 （実施主体）神奈川県西部広域行政協議会都市交通部会（小田原市及び足柄上下地域1市8町） ※製作媒体への企業等広告の掲載による広告収入での製作の実施（広告収入実績：総製作費の約1割）、前年実績を基にした効率的な配布の検討や商業施設等の効果的な場所での配布を実施。</p>

令和4年度小田原市生活交通ネットワーク協議会決算報告

1. 歳入

(単位:円)

科目	決算額	摘要
負担金	9,899,000	小田原市
補助金	2,329,800	国(国土交通省) 令和4年度地域公共交通確保維持改善 事業費補助金(地域公共交通調査事業) ※令和4年4月20日付交付申請 " 5月17日付交付決定 令和5年4月26日付補助金受入
繰越金	795,867	前年度からの繰越
雑入	51	預金利子
合計	13,024,718	

2. 歳出

(単位:円)

科目	決算額	摘要
会議費	175,960	NW協議会開催に係る費用など (報酬、旅費、源泉徴収、需用費、振込 手数料)
事務費	123,218	その他の打合せ等に係る費用など (報酬、旅費、源泉徴収、会議室使用料、 振込手数料)
事業費	11,561,000	小田原市地域公共交通計画策定調査業 務(委託料)
合計	11,860,178	

※歳入と歳出の差額1,164,540円は次年度に繰り越しとする。

監 査 報 告 書

小田原市生活交通ネットワーク協議会規約第10条第1項の規定により、
令和4年度収入支出決算について監査した結果、適正なものと認めます。

令和5年(2023年) 5月24日

小田原市生活交通ネットワーク協議会 監事

所属：小田原箱根商工会議所

職名：経営支援部 経営三課 課長

氏名：内田 信也



監 査 報 告 書

小田原市生活交通ネットワーク協議会規約第10条第1項の規定により、
令和4年度収入支出決算について監査した結果、適正なものと認めます。

令和5年(2023年) 5月 12日

小田原市生活交通ネットワーク協議会 監事

所属：神奈川県県土整備局都市部交通企画課

職名：副課長

氏名：最上 祐紀



地域公共交通計画策定に係る地域別説明会での 市民意見について

地域公共交通計画の策定に当たり、地域の意見を反映するため、次のとおり地域別説明会を開催しました。

(1) 開催日・会場・参加者数

地域	開催日	会場	参加者数		
			午後2時～	午後7時～	合計
片浦地域	令和5年7月18日(火)	根府川公民館	11人	8人	19人
中央地域	7月20日(木)	市役所	7人	2人	9人
富水・桜井地域	7月25日(火)	城北タウンセンターいずみ	7人	2人	9人
川東・南部地域	7月27日(木)	川東タウンセンターマロニエ	15人	5人	20人
川東・北部地域	8月1日(火)	梅の里センター	11人	16人	27人
橘地域	8月3日(木)	橘タウンセンターこゆるぎ	27人	15人	42人
合計			78人	48人	126人

(2) 市民への周知方法

広報紙、ホームページ、広報委員長会議、自治会回覧、SNS、防災アプリ、各会場へのポスター掲示

(3) 参加者からの主な意見等

	主な意見
1	路線バスを増便して欲しい。
2	市内の主要施設を循環するコミュニティバスを運行して欲しい。
3	自宅付近まで送迎可能なデマンド交通を導入して欲しい。
4	高齢者向けのバス助成（シルバーパスなど）を導入して欲しい。
5	路線バスの空白時間帯がある地域は早期に対策を実施して欲しい。
6	運転免許証返納者への支援策も検討して欲しい。
7	ボランティア輸送は、ボランティアドライバーの確保が課題である。
8	説明会に参加できなかった方にも意見を聞いて欲しい。

(4) 今後について

令和5年10月10日(火)から11月8日(水)に実施予定の意見公募(パブリックコメント)と併せて、意見を整理し、計画への反映を検討・実施していく。

時期	内容
令和5年 10月10日 ～11月8日	パブリックコメントの実施
12月上旬	小田原市議会建設経済常任委員会報告 (パブリックコメントの実施結果等について)
令和6年 1月中旬	計画案(小田原市生活交通ネットワーク協議会での承認)
2月下旬	小田原市議会建設経済常任委員会報告(計画案について)
3月下旬	計画策定(小田原市生活交通ネットワーク協議会での承認)

移動支援の新たな取組（実証事業）について （（仮称）おだタク・おだチケ実証事業）

公共交通は生活に欠かせない移動手段となっているが、路線バスについては、少子高齢化や人口減少に伴う利用者の減少、慢性的な運転士不足などにより大幅な減便が行われ、特に日中に空白時間帯が生じている地区に加え、高齢者を中心に駅やバス停から離れている地区にお住まいの方々の、買い物や通院など日常の移動支援のニーズが高いことを、地域公共交通計画策定における市民アンケート等により確認した。

そこで、地域公共交通計画に地域の実情に応じた移動支援策の位置付けを検討するにあたり、利用実態や効果を検証するため、次のとおり、「（仮称）おだタク・おだチケ実証事業」を令和5年11月から令和6年3月まで実施する。

1 相乗りタクシー「（仮称）おだタク」の運行

国府津駅を発着し前羽・橘北地区を運行する神奈川中央交通のバス路線のうち、国道1号区間(国府津駅～押切・塔台橋バス停)で生じている日中の空白時間帯に、相乗りタクシー1台を運行する。

運行日	11月1日(水)～令和6年3月29日(金) ※平日のみ
対象者	事前予約をすれば誰でも利用可能
運行区間	町屋公民館～国府津駅
運行時刻	9時30分～11時30分／14時00分～16時00分
運賃	1便につき600円 ※最大4名で相乗り(例)4名乗車⇒150円/名

2 タクシー・路線バス共通助成券「（仮称）おだチケ」の配布

富士急湘南バス・神奈川中央交通のバス路線に日中の大きな空白時間帯が生じていることや、駅やバス停から離れていることで、日中の移動手段に課題がある地区の高齢者を対象に、タクシーと路線バスで利用できる共通助成券を12,000円配布する。

実施期間	11月1日(水)～令和6年3月31日(日)
対象地区	曾我・下曾我・国府津・前羽・橘北地区
対象者	対象地区にお住いの75歳以上の運転免許証をお持ちでない方
申請方法	市役所2階 高齢介護課に直接または郵送で 申請書は、高齢介護課窓口または市ホームページからダウンロード
利用上限額	タクシーの利用額としては、上限額を設けている。 [タクシー]上限額2,400円(1人1乗車につき) [路線バス]上限なし

【事業地区（自治会連合会の区域）】

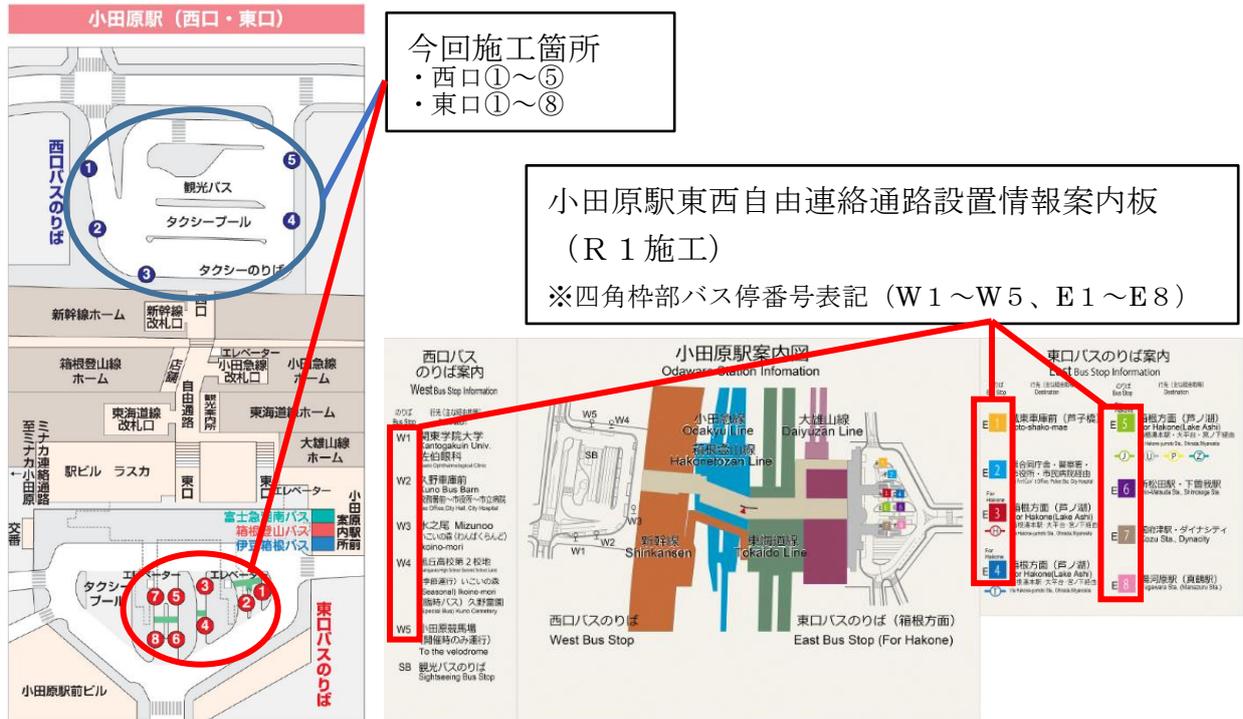


小田原駅バス停表示板の改修について

1. 概要

令和元年度に施行した「小田原駅東西自由連絡通路等情報案内板整備事業」において、小田原駅東口・西口広場バスのりばの案内板を小田原駅東西自由連絡通路に整備したが、案内板ののりば番号（2. 施工箇所等参照）と、各バス停表示板の表記（3. 施工イメージ参照）を統一するものである。

2. 施工箇所等



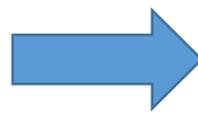
<出典：県西部都市圏バスマップ>

3. 施工イメージ

各バス停表示板の番号の左上に、東西を示すアルファベットをシート貼り付けにより追記（東口→E、西口→W）



<小田原駅西口バス停表示板の現況>



<小田原駅西口バス停表示板施工イメージ>

4. 支出額

92,400 円

内訳：東口 ※12面（片面4箇所、両面4箇所）

西口 ※10面（両面5箇所）